

予備自衛官 1 日間訓練



令和3年7月15日(木) 山梨地方協力本部(本部長・前野直樹1等陸佐)は、新たに予備自衛官として採用された1名に対して予備自衛官1日間訓練を実施しました。

「1日間訓練」は自衛隊を退職して1年未満で採用された者に対し、仕事や職場環境に慣れる時間を十分に取って、次年度以降の「5日間訓練」に出頭に向けて準備するためのものです。訓練は辞令書交付、申告、服務の宣誓、本部長訓示のほか、国内外情勢、我が国の防衛の在り方、自衛隊の現状、予備自衛官の心構えの教育が実施されました。

参加した予備自衛官からは「予備自衛官制度に関して認識することができてよかった、次年度以降5日間訓練に出頭できるように頑張りたい。」と決意を新たにしています。

今後新規採用の予備自衛官の方々と意思疎通を十分に図り、出頭しやすい環境づくりに努めて参ります。

防衛大学校オープンキャンパス



7月17日(土)、防衛大学校において開催されたオープンキャンパスに、山梨地本からは高校生とその保護者の方合わせて14名が参加しました。

初めに防衛大学校長のウエルカムスピーチの後、各学部の説明、模擬授業、学生舎見学、入試相談会などが実施され、その後、感染拡大防止対策が講じられた校内を見学しました。模擬授業では、防大独自のカリキュラムである防衛学の講義が行われ、他の大学では聞くことができない講義に参加者は興味深く聞き入っていました。

また、学生舎見学では、実際に在学生在が生活している居室などを見学し、どのような環境で生活しているのを見ることができ、入校後の生活をイメージすることができました。また、学生舎内では、模擬小銃を使って練習をする防衛大学校儀仗隊に接し、防大ならではの活動を見ることもできました。

更に、図書館内では受験生のために入試相談会が開催されました。入試相談会に参加した方からは「防大の講師の方に不安に思っていた入試のことや入校後にどんなことが勉強できるのかを相談ができて不安が解消されました。」という感想が聞かれました。

防衛大学校は、本科を卒業し、学位授与と機構の行う審査に合格すれば、一般大学と同様に学士の学位が授与されます。なお、(一次)は、山梨県内での受験が可能で人文・社会科学専攻、理工学専攻ともに10月27日迄受付中です。

皆さんも陸上・海上・航空各自衛隊の平和を守るリーダーを目指してみませんか。



令和3年度山梨県自衛隊退職者雇用協力会定期総会へ出席



本部長挨拶



本部長による「防衛講話」の様子

自衛隊山梨地方協力本部(本部長 前野 直樹1等陸佐)は、7月27日(火) 甲府商工会議所において開催された、令和3年度山梨県自衛隊退職者雇用協力会定期総会を支援するとともに同会に本部長が来賓として出席しました。

本協力は、山梨県内に就職を希望する自衛隊退職者に対し、就職援助等について協力し、県内産業の発展に寄与するとともに、自衛隊の健全な育成維持に貢献することを目的として平成21年に設立されました。

当日は、県内各地から22社23名の企業主等の方々が出席し、総会では、昨年度の雇用協力会の活動について報告がなされるとともに、今年度の事業計画等の審議が行われ、退職自衛官再就職に際する援助活動の実施、定年退職予定隊員に対する企業研修受入等が決定されました。

議事終了後、山梨地本援護課長より退職自衛官の再就職状況と予備自衛官等制度について説明するとともに、山梨地本として初開催となる任期制隊員合同企業説明会への参加についてお願いしました。

その後、山梨地本本部長による「我が国の防衛をめぐる状況について」と題した防衛講話が行われ、最近の我が国を取り巻く国際情勢及び昨今の自衛隊の活動についての説明に、会員は皆真剣に聞き入っていました。

総会後、会員の方からは「退職者でよい方がいれば是非紹介してもらいたい。」と会として更なる会勢拡大が必要だ。」等の意見が聞かれました。

山梨地本は、引き続き雇用協力会にも協力をいただき、拡大に協力し、山梨県内への就職を希望する自衛官に対して、就職援助がより充実するよう図って参ります。